



増加する ニホンジカから 石鎚山系を守るために

講師 **奥村栄朗**（おくむらひでお）さん

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
四国支所 流域森林保全研究グループ 研究専門員

1955年 滋賀県大津市生まれ、東京大学農学部林学科卒業
1984年 林野庁林業試験場（現・森林総合研究所）研究官となり、
カモシカ、シカを中心に、野生哺乳類の生態や保護管理、
被害防除の研究調査に携わる。
2005年より森林総合研究所・四国支所に勤務。

近年、四国の山間部ではニホンジカの増加によって農林業被害だけでなく、生態系への深刻な影響が生じています。これは、美しい高山植物が多数生息する石鎚山系も例外ではありません。今回は、奥村さんの主なフィールドである南予・鬼ヶ城山系を中心に、三嶺・剣山のニホンジカ対策の取り組みをご紹介いただきながら、石鎚山系で生じているニホンジカによる植生被害の現状と対策について解説いただきます。シカ被害から石鎚山系を守るために私たちにできることは何か、みんなで考えましょう。

日時

令和元年 10月31日（木） 18:00～19:30

場所

愛媛大学城北キャンパス 総合研究棟 2 3 階
ラーニングコモンズ 2
（〒790-0820 松山市文京町3）

対象

自然保護や石鎚山系に関心がある方

【お申込み】別紙の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、10月29日（火曜日）までにメールまたはFAXにてお申し込みください。
申し込み用紙は愛媛県のホームページからもダウンロードできます。
（個人情報は適正に管理し、当事業関係のご連絡のみに使用します。）

愛媛県石鎚山系生物多様性保全推進協議会（愛媛県県民環境部環境局自然保護課生物多様性係）

TEL : 089-912-2365 / FAX : 089-912-2354

E-mail : shizenhogo@pref.ehime.lg.jp